

研修概要



【概要】：

データベース設計に必要な知識・手法を、講義と演習によって学習します。前半では、要素技術としてER図の書き方、正規化の概念を学び、後半は、概念設計から物理設計までの個々のタスクを机上演習を通して学びます。

【目標】：

本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。

1. データベース設計の概要を理解する。
2. ER図の書き方を理解する。
3. 正規化の概念を理解する。
4. 概念設計、論理設計、物理設計の個々のタスクを理解する。

【期間】：2日間

【対象】：

データベースの設計を担当する方。

【前提知識】：

リレーショナルデータベースおよびシステム設計全般についての知識があること。

	1日目	2日目
午前	第1章 データベース設計の流れ 1.1 システム開発におけるデータベース設計の位置づけ 1.2 データベース設計の流れ 第2章 ER図 2.1 ER図とは 2.2 ER図の表現形式 2.3 エンティティ 2.4 リレーションシップ 2.5 ER図の記述例 2.6 サブタイプ	第4章 トップダウン分析とボトムアップ分析（続き） 第5章 モデルの見直し 5.1 モデルの見直しの位置づけ 5.2 モデルの見直しの目的 5.3 モデルの見直しに必要な情報 5.4 非正規化 5.5 導出項目の取り込み 5.6 サマリ・エンティティ 5.7 RDBMSの実装に備えて
午後	第3章 正規化 3.1 正規化とは 3.2 第一正規化 3.3 第二正規化 3.4 第三正規化 第4章 トップダウン分析とボトムアップ分析 4.1 トップダウン分析とボトムアップ分析の位置づけ 4.2 トップダウン分析とボトムアップ分析 4.3 ボトムアップ分析 4.4 トップダウン分析 4.5 ER図の統合	第5章 モデルの見直し（続き） 第6章 テーブル設計とその他のデータベース・コンポーネント設計 6.1 テーブル設計とその他のデータベース・コンポーネント設計の位置づけ 6.2 テーブル設計 6.3 テーブル分割 6.4 インデックス設計 6.5 ビューの設計 第7章 物理設計 7.1 物理設計の位置づけ 7.2 物理設計とは 7.3 物理設計の手順